

血液培養検査 複数セット提出率

算式

$(\text{提出セット数} - 1 \text{セットのみの提出セット数}) \div \text{提出セット数} \times 100$

対象

全入院患者（全診療科・全病棟）

考察

血液培養は感染症診断の重要な手段であり、菌血症の検出に広く用いられている。検査感度の向上および、採取部位の皮膚常在菌などによるコンタミネーションの区別のために、通常は2セット以上の検体提出が必要である。90%以上で推移しており、他施設と比較しても差はなく適正な検査状況と考える。

計画

今後もモニタリングを継続し、提出率の低下がないか監視を行う。

